令和４年度　百合丘高等学校学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史B	学年	第3学年	教科書	『詳説 日本史　改訂版』（山川出版社）
		単位数	4単位	副教材	『最新日本史図表　四訂版』(第一学習社) 『日本史総合テスト　改訂版』(山川出版社)

学習目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づいて地理的条件や世界の歴史と関連付けて考察させ、我が国の伝統や文化の特色についての認識を深めさせることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
学習方法	○文字資料や史料、写真、映像等の諸資料を活用することにより歴史的事項を把握し、理解を深める。 ○我が国の諸課題について、地理的条件や世界の歴史と関連付け、歴史的観点から考察する。 ○学習した内容を生徒間の討議や発表を通して共有することにより、歴史的思考力を養う。 ○適切な主題を設定し資料等を活用して探究し考えを論述する学習活動を行う。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を深め、意欲的に追及し、国際社会に生きる日本国民としての責任を果たそうとしている。
b	思考・判断・表現	我が国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
c	資料活用の技能	我が国の歴史の展開に対する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる。
d	知識・理解	我が国の歴史の展開についての基本的事項を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

学期	内容のまとまり	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	原始・古代	12	日本文化のあけぼの	文化のはじまり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	○	○			a：原始社会の特色および古代国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 b：東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：遺跡や遺物、文書などの歴史資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d：古代国家の形成と展開、文化の成立背景とその特色についての基本的事項を、東アジア世界と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	プリント学習 定期試験 行動観察 参加状況 課題の提出
		13	律令国家の形成 貴族文化と国風文化	飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成			○	○		
	中世	10	中世社会の成立	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退	○			○	a：中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。 b：中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の成立背景の特色について、宋・元などとの関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：中世国家と社会や文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の成立背景と特色についての基本的事項を、宋・元などとの関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	プリント学習 定期試験 小テスト 行動観察 参加状況
		11	武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場		○	○			
	近世	10	幕藩体制の確立 幕藩体制の展開	織豊政権,桃山文化 幕藩体制の成立 幕藩体制の構造 幕政の安定 経済の発展		○		○	a：近代国家の形成から展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及している。 b：近代国家形成的展開に関する課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c：近代国家の形成から展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：近代国家の形成から展開に関する基本的事項を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	プリント学習 定期試験 行動観察 参加状況 課題の提出
後期		20	幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天保の文化 幕府の衰退と近代への道 化政文化	○			○		
	近現代	27	近代国家の成立 二つの世界大戦とアジア	開国と幕末の混乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展	○		○		a：現代の社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求している。 b：現代の社会や国民生活の特色から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 c：現代の社会や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d：現代の社会や国民生活の特色についての基本的事項を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	プリント学習 定期試験 小テスト 行動観察 参加状況
		15	占領下の日本 高度成長の時代	占領と改革 冷戦の開始と講和 55年体制 経済復興から高度成長へ	○	○		○		
		10	激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の動揺	○	○		○		
合計時数（55分授業）		128								